

ひまわりクリニックきょうこく

ひまわり便り 第36号

6月の感染対策委員会 「マダニに関する学習会」

6月10日にニセコで「後志感染管理研修会」が開催され、研修会に参加された職員による「マダニに関する学習会」をクリニック職員対象に行いました。

ウイルスを持つ「マダニ」にかまれて発症する『ダニ媒介性脳炎』が道内で相次いで発生しています。これからの季節、特に気をつけなくてはなりません。正しい「マダニ」対策で、安全にアウトドアを楽しみましょう。

「マダニ」とは

8本脚からなる節足動物です。家の中に住むダニとは違って固い外皮に覆われ、大きさは吸血する前のもので約3～4mmあります。マダニの唯一の栄養源は、動物の血液です。幼ダニ、若ダニ、成ダニの各ステージで一回ずつ、生涯で3回吸血します。

野生動物が多く生息する環境や、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道に生息

5～7月に多い！！



「マダニ」から身を守る方法

- ・服は明るい色のもの
(マダニを目視で確認しやすい)
- ・化学繊維素材のもの
(マダニが付きにくい)
- ・草むらなどで、長時間直接寝転がったり、座ったり服を置いたりするのは止める。
- ・タオルや上着は、直接地面に置いたり木にかけたりしない。
- ・虫よけの使用は、マダニの付着数を減少させるが、完全には防げない。

首にはタオルを巻くかハイネックのシャツを着用する。

ズボンの裾を靴下をかぶせるか登山用スパッツを使用する。



シャツの裾はズボンの中に、袖口は手袋の中に入れる。

ズボンの袖は長靴の中に入れる。

屋外活動後は、マダニが付いていないかチェック！！

「マダニ」に咬まれたら

- ・体部を無理に引っ張ると、一部が皮膚内に残ってしまう恐れがあるので医療機関で処置をしてもらいましょう。
- ・マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱・食欲低下・嘔吐・下痢等の症状が見られた場合は、医療機関を受診しましょう。受診の際には、いつ、どこを咬まれたか、山などに行ったかを医師に伝えましょう。

☆ひまわりクリニック 新しい職員の紹介☆

趣味は読書です♪



看護助手 前田 苗枝さん

『4月からひまわりクリニックで働いている前田です。宜しく願い致します。』